

# 児童・生徒のサポート体制の強化に向けた 専門スタッフ・地域人材の活用について

【担当省庁：文部科学省】

現在、「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業」を活用し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置しており、**教育上の効果とともに教員の負担軽減にも効果が見られている。**

学校が抱える課題が、複雑・多様化する中で、**教員が教育の質を高められる環境を構築するため、以下の職員の配置拡充や計画的な配置に向けた財源を確保していただきたい。**

- ① **スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー**
- ② **スクール・サポート・スタッフ**
- ③ **部活動指導員**

京都府 の担当課	教育委員会 教職員企画課 (075-414-5789) 学校教育課 (075-414-5831) 保健体育課 (075-414-5861)
-------------	--

## ■概算要求【文部科学省】

▼いじめ対策・不登校支援等総合推進事業 72億円 (29年度当初予算61億円)

SCを全公立小・中学校27,500校に配置 (1,500校増)

SSWを小・中学校に配置：8,000人 (3,000人増)、高校に配置：47人

▼補習等のための指導員等派遣事業 15億円 (新規)

教員の負担軽減を図るために、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うサポートスタッフを配置：3,600人

▼部活動指導員配置促進事業 15億円 (新規)

公立中学校において、部活動指導を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図るため、部活動指導員を配置：7,100人

## ■京都府における配置状況

	配置	府予算 (千円)	財源	今後の方向性
SC (臨床心理士)	小 17.6%	240,750	国庫1/3 「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業」	小学校、特別支援学校で配置拡充を図る
	中 100.0%			
	高 100.0%			
	特 18.2%			
SSW (社会福祉士等)	小 13.3%	128,782	「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業」	全校種において配置拡充を図る
	中 38.1%			
	高 10.6%			
	特 -			
サポート・スタッフ	未配置	-	-	計画的な配置に向けて財源を確保
部活動指導員	中 5校	10,880	単費	〃
	高 1校			